役員選解任方針

【1】取締役会の構成に関する方針

取締役会の構成は次の通りとする。

- ① 取締役の員数は、定款の定めにより9名以内とする。
- ② 取締役会は、3分の1以上を独立社外取締役とする。
- ③ 取締役会は、その役割・責務を実効的に果たすための知識・経験・能力・専門性を全体としてバランスよく備え、ジェンダーや国際性・職歴・年齢等の面を含む多様性と適正規模を両立させる構成とする。

【2】取締役候補者の選定基準

取締役候補者及びCEO候補者は、指名委員会がそれぞれの項に掲げる事項を満たす者の中から候補者を指名し、取締役会において取締役候補者及びCEOを選定する。

〔1〕社外取締役以外の取締役候補者の選定基準

- ① 企業価値の向上に貢献できること。
- ② ガバナンスの強化及び取締役会の活性化を図ることができること。
- ③ 優れた人格・見識を有し、経営感覚に優れ、経営の諸問題に精通していること。
- ④ 全社的な見地、客観的に分析・判断する能力に優れていること。
- ⑤ 全社的な見地で積極的に自らの意見を申し述べるができること。
- ⑥ 高いコンプライアンス意識・倫理観を有していること。
- ⑦ 先見性・洞察力に優れていること。
- ⑧ 時代の動向、経営環境、市場の変化を適確に把握できること。
- ⑨ 会社法第331条第1項各号に定める取締役の欠格事由に該当しない者であること。
- ⑩ 原則として、当社グループを除き、他の法人の常勤の役員を兼任していないこと。

〔2〕社外取締役候補者の選定基準

- ① 企業価値の向上に貢献できること。
- ② ガバナンスの強化及び取締役会の活性化を図ることができること。
- ③ 誠実な人格、高い見識と能力を有し、広範かつ高度な知識と経験及び出身分野における高い実績を有する者であること。
- ④ 会社法第331条第1項各号に定める取締役の欠格事由に該当しない者であること。
- ⑤ 会社法第2条第15号に定める社外取締役の要件を満たす者であること。
- ⑥ 原則として、他の上場会社の業務執行取締役（執行役、執行役員を含む）、常勤監査役でないことに加え、他社の社外役員兼任が当社を含め4社以内であること。

〔3〕CEOの選定基準

- ① 企業価値向上の実現に向けて、徒にリスク回避に終始することなく、業務執行における最終責任を全て負う覚悟をもって果敢に決断する力や経営者としての覚悟である胆力を備えていること。
- ② 経営環境の変化と自社の進むべき方向を見極め、中長期的視野に立ち、全社戦略をグローバルレベルで大きく構想し、実行する力を備えていること。
- ③ 業界や組織の常識・過去の慣行に縛られない視座を持ち、組織全体を鼓舞しつつ、あるべき姿の実現に向けて組織を変えていく力を備えていること。

【3】 監査役会の構成に関する方針

監査役会の構成は次の通りとする。

- ① 監査役の員数は、定款の定めにより5名以内とする。
- ② 監査役会は、半数以上を社外監査役とし、うち1名以上は独立性を有する者を確保するよう努める。
- ③ 監査役会は、財務・会計に関する十分な知見を有する者1名以上を含める。

【4】 監査役候補者の選定基準

監査役は、指名委員会がそれぞれの項に掲げる事項を満たす者の中から候補者を指名し、監査役会の同意を得て、取締役会において候補者を選定する。

〔1〕 社外監査役以外の監査役候補者の選定基準

- ① ガバナンスの強化及び取締役会の活性化を図ることができること。
- ② 優れた人格・見識を有し、経営感覚に優れ、経営の諸問題に精通していること。
- ③ 高いコンプライアンス意識・倫理観を有していること。
- ④ 先見性・洞察力に優れていること。
- ⑤ 時代の動向、経営環境、市場の変化を適確に把握できること。
- ⑥ 全社的な見地で積極的に自らの意見を申し述べるができること。
- ⑦ 会社法第335条第1項で準用する同法第331条第1項各号に定める監査役の欠格事由に該当しない者であること。
- ⑧ 原則として、当社グループを除き、他の法人の常勤の役員を兼任していないこと。

〔2〕 社外監査役候補者選定基準

- ① 当社が定める社外役員の独立性判断基準に適合すること。
- ② ガバナンスの強化及び取締役会の活性化を図ることができること。
- ③ 誠実な人格、高い見識と能力を有し、広範かつ高度な知識と経験及び出身分野における高い実績を有する者であること。
- ④ 会社法第335条第1項で準用する同法第331条第1項各号に定める監査役の欠格事由に該当しない者であること。
- ⑤ 会社法第2条第16号に定める社外監査役の要件を満たす者であること。
- ⑥ 原則として、他の上場会社の業務執行取締役（執行役、執行役員を含む）、常勤監査役でないことに加え、他社の社外役員兼任が当社を含め4社以内であること。

【5】 執行役員の選定基準

執行役員は、候補者を選定する場合、指名委員会が社外取締役以外の取締役候補者選定基準に準じて候補者を指名し、取締役会において選定する。

【6】 役員解任の基準

役員がその任期中において、各選定基準の条件のうちいずれかを満たさなくなった場合または会社の経営基盤を揺るがすような行為もしくは株主の利益を著しく毀損するような行為を行った場合に加え、設定した経営計画等の目標及び期待した成果と結果（期毎の業績・戦略の遂行状況）等諸事情を総合的に勘案した上で、指名委員会の審議を経て、取締役会において方針を決定し、法令または役員に関する社内規程に基づく所定の手続きをとるものとする。

【7】 本方針の改廃

本方針の改廃は、取締役会において行う。

本方針の制定・改訂の履歴

1. 2018年 9月14日 制定・適用
2. 2019年 6月25日 改定（定款改定に伴い【3】を変更）
3. 2020年 6月17日 改定（【3】③④を変更）
4. 2021年 2月25日 改定（【2】〔1〕⑩の一部文言を変更、【4】〔1〕⑧を新設）
5. 2021年 11月10日 改定（方針名変更、コーポレートガバナンス・コードの改訂に伴い【1】・【3】を変更）